

ご報告:チリ共和国(キンタ・ノルマル消防団) 消防車寄贈事業

平成26年度在チリ日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、チリ共和国ロ・プラド区を管轄する「キンタ・ノルマル消防団」へ日本の自治体より無償譲渡いただいた救助工作車を寄贈しました。

車両の現地到着後2017年7月、日本大使館立会いのもと引渡しが完了しましたので、ご報告します。

<現地写真>

<p>1</p>	<p><引渡式></p> <p>2017年7月12日夜 整列して車両の到着を待つ キンタ・ノルマル消防団員</p> <p>式典は消防団第4分隊消 防署にて行われた。</p> <p>奥からライトをつけて入場 してくる救助工作車。</p>	
<p>2</p>	<p><引渡式></p> <p>スピーチをするチリ共和国 消防評議会ミゲル・レジエ ス理事長</p> <p>レジエス理事長は「2015年 にチリで開催されたK I Z U N Aプロジェクト※では、 多くの中南米諸国とも 防災課題や知見を共有する ことができました。日本に は感謝しています」と述べ た。</p> <p>※10月13日「世界防災の 日」に開催された中南米・ カリブ諸国の防災分野の人 材育成を目的とした会合。</p>	

<p>3</p>	<p><引渡式></p> <p>スピーチをする在チリ日本国大使館平石 好伸 特命全権大使</p> <p>平石大使は「車両が寄贈されたことで消防団がより安全で適切な活動を行えることを期待しています。今年はチリと日本の国交樹立120周年を迎え、今後も両国のさらなる関係強化を願っています」と述べた。</p>	
<p>4</p>	<p><引渡式></p> <p>チリ共和国キンタ・ノルマル消防団 アンドレス・スプルベダ総督</p> <p>スプルベダ総督は「日本から寄贈された救助工作車のおかげで、消防団はより適切な活動ができるようになります。日本の皆様に感謝しています」と述べた。</p>	
<p>5</p>	<p><引渡式></p> <p>寄贈関係者の記念撮影</p> <p>左端からサンティアゴ首都ロ・プラド区マキシミアノー・リオス区長、レジェス理事長、平石大使、スプルベダ総督</p> <p>リオス区長は「地区を管轄する唯一の消防署として、まだまだ不足している装備・資機材が多く、救助工作車もその一つです」と述べた。</p>	

<p>6</p>	<p><引渡式></p> <p>寄贈された救助工作車を視察する関係者</p> <p>日本からも油圧資機材など多くの積載品を寄贈した。</p>	
<p>7</p>	<p><寄贈車両></p> <p>厚木市供出の救助工作車</p> <p>車両がチリへ到着した後、現地イキケ港で左ハンドルへ改造された。</p>	
<p>8</p>	<p><寄贈車両></p> <p>別の日、消防団の歓迎を受ける救助工作車</p> <p>チリ国内でも希少な最新型車両としてたいへん喜ばれている。</p>	